

あきた 商 Biz⁺ plus



Official HP

チャンスを活かして
変化を生み出す



2024年7月「道の駅ふたつ」来場者数600万人達成／ニツ井町

県内の中小・小規模事業者を取り巻く環境は、人口減少が招く需要不足による地域経済の疲弊や、物価高や賃上げによる経営コストの増加で厳しい状況にあります。

こうした厳しい環境の中、事業者は新分野進出などの革新的な取組に挑戦しています。また、商工会においては、地域経済の活性化に向けた、独自戦略に取り組んでいます。本号では、事業者や地域に変化を生み出す革新的な取組事例を特集いたします。

Contents



P.2~3

デジタル技術の活用で
地域経済活性化に
チャレンジ



P.4

溶接ロボット導入で
人手不足対策と
生産性向上



P.5

中小企業白書・小規模
企業白書から見る
企業の状況



P.6

BCP(事業継続計画)を
策定しましょう！

2024年9月発行

Vol.604

秋田県商工会連合会報

奇数月1日発行
発行日/令和6年9月1日
(昭和45年12月3日第3種郵便物認可)



デジタル技術の活用で、地域経済活性化にチャレンジ

県内の商工会では、デジタル技術を活用し、地域外からの誘客や販路拡大、創業の支援など、様々な取組を行っています。

ここでは、3商工会の取組をご紹介します。

観光アプリを活用した、道の駅から街なかへの「誘客事業」 ニツ井町商工会

ニツ井町商工会では、「道の駅ふたつ」から、街なかへ誘客を図るため、令和4年に能代市が開発した観光アプリに、観光地だけでなく商店街等の会員事業所を登録した。

観光アプリのQRコードを掲載したPOP等や電子クーポンで、訪れる人の活用度が高まっており、蓄積されたデータは会員事業所に共有された。

成果 ※令和6年7月現在

観光アプリについて

- ・観光アプリの新規ユーザー数が増加した。
【累計ユーザー数】
503名(R4.9月)→852名 349名増加 (うち海外ユーザー 140名)
- 【電子クーポン発行事業者】12事業者
- 【電子クーポン利用累計回数】70回

観光アプリ内のデータについて(一部抜粋)

- ・登録されているコンテンツ総数は、215件である。(図1)
 - ・きみまち阪県立自然公園、銀杏山神社等の「観る」が約半数の94件と最多である。(図1)
 - ・他方、「食べる」(17件)、「泊まる」(8件)は少ない。(図1)
 - ・閲覧数の上位は、「食堂」、「レストラン」、「ホテル」で関心の高さがうかがえる。(図2)
- ・閲覧数の上位を占める「食堂」、「レストラン」、「ホテル」の 카테고리である「食べる」「泊まる」のコンテンツを充実させていくことが求められる。

カテゴリー別コンテンツ数(図1)

カテゴリー名	コンテンツ数
食べる	17
泊まる	8
買う	48
観る	94
体験する	45
その他	3
合計	215

閲覧数ランキング上位5件(図2)

順位	コンテンツ	閲覧数
1	A 食堂	608
2	B 食堂	554
3	A レストラン	433
4	A ホテル	411
5	B ホテル	404



観光アプリ「能代きみまち散歩」の画面

期待されること

- ・観光アプリデータを分析し、観光客ニーズにあわせたサービス内容の充実を図るとともに、会員事業所の経営改善に役立つアプリにしていく。

今後の取組

- ・電子クーポンを発行する事業者を増やすとともに、発行頻度を高め、観光アプリの充実を図る。
- ・観光アプリで「道の駅・商店街、観光客、地元のお客様」を繋げる、スタンプラリーを実施し、更なる誘客を図る。

アプリクーポンは
ここからダウンロード

能代きみまち散歩



空き店舗情報のデジタル化による創業環境整備

北秋田市商工会

北秋田市商工会では、北秋田市と共に調査した空き店舗情報を従来の冊子に加え、令和6年2月からホームページで公表した。

その結果、地域外を含む若い世代の創業・移転の問い合わせが増えている。

掲載URL <https://r.goope.jp/shoko-kitaakita/free/project>



空き店舗情報QR

成果 ※令和6年7月現在

- ・公表物件に創業・移転で2件入居した。
 - ・創業相談数が増加した。
- ホームページ公開前 1年間で9件(令和5年度実績) → 公開後 3ヶ月で6件(令和6年4月～7月)

期待されること

- ・利用可能な空き店舗情報をデジタル化することで、周知エリアが市外に拡大する。
- ・新たな空き店舗情報の更新が随時可能になる。



今後の取組

- ・創業塾を開催し、創業計画作成と並行して空き店舗の個別相談に応じる。
- ・空き店舗情報を活用し創業した事例を紹介する。
- ・空き店舗改修工事の補助事業化について北秋田市と協議する。

インターネットを活用した新たな商工振興事業の展開

由利本荘市商工会

由利本荘市商工会では、受注件数の拡大や新規顧客の獲得をねらって、2つの業種別データベースを作成した。事業間連携を促すなど、新たな商工振興を展開している。

【製造業・建設業版】由利本荘市仮想工業団地 URL : <https://shoko-yurihonjo.jp/industry/>

【飲食サービス業版】ふらっと! ゆりほん URL : <https://furatto-yurihon.jp/>

成果 ※令和6年7月現在

由利本荘市仮想工業団地

登録事業所数： 155社
問い合わせ件数： 195件 (R5年度実績)
マッチング件数： 33件 (4年間累計)

ふらっと! ゆりほん

登録事業所数： 56社
閲覧数： 19,745件 (前年比5%増)
利用者数： 8,330人 (前年比51%増)



仮想工業団地QR

期待されること

- ・求人動画の掲載が、人手不足対策になる。
- ・利用者に役立つデータベースにすることで、誘客につながる。



今後の取組

- ・仮想工業団地の登録事業所を増やし、仕事を市内で完結できるようにする。
- ・クーポンの設定やSNS活用による販売促進を行い、ダムや洋上風力事業等の工事関係者や訪日外国人観光客を取り込む。



ふらっと! ゆりほんQR

溶接ロボット導入で新たな事業を確立し、 人手不足対策と生産性向上

コロナ禍で売上が低下する中で、溶接ロボット導入にチャレンジし、売上増加につなげた事例をご紹介します。

今回ご紹介する会員は… /



北嶋鉄工株式会社

- 代表者** 北嶋 忠宣 さん
- 創業** 1979年4月1日
- 従業員数** 15名
- 事業内容** 建築用鉄骨の加工・取付け
- 所在地** 能代市二ツ井町

きっかけ

当社の売上の柱である県内及び東北からの低層建築工事は、コロナ禍により需要が落ち込み、鉄骨の単価競争も激しく利益が見込めない状況であった。

また、これまで首都圏の中高層建築工事の引き合いはあったものの、当社の設備や人員では対応できず、ビジネスチャンスを逃していた。

このままでは企業が衰退すると思い、その解決策として大型サイズの鉄骨溶接方法を導入するため、商工会へ相談した。

取組内容

- ・事業再構築補助金を活用し、溶接ロボットを2台導入した。
- ・鉄骨組み立て場を整理し、新たに自動溶接ラインを設置した。
- ・メーカーの講習会に従業員3名を派遣し、オペレーターを育成した。



- ・導入した大型溶接ロボット(左上)
- ・導入した小型溶接ロボット(右上)
- ・溶接ロボットをパソコンで操作している様子(左下)

成果

売上増加

- ・大型サイズの鉄骨溶接方法を導入して、これまで請け負うことのできなかった中高層建築工事に対応できるようになった。
- ・令和5年度決算では、コロナ禍と比較し、売上が約40%増加した。

作業効率の改善

- ・リードタイムが30%短縮した。
- ・製品の欠陥発生率が減少した。
- ・24時間自動溶接が可能になった。

労働環境の改善

- ・従業員の残業、休日出勤が大幅に減少した。
- ・従業員の賃金をベースアップした。
- ・手作業が減り、事故やけがのリスクが減少した。



機械によって溶接された鉄骨のつなぎ目

指導員の声

二ツ井町商工会 事務長 榊 英孝

- ・事業再構築補助金の要件に合わせて、事業計画を作成することに苦労した。
- ・事業計画は、専務と何度も打ち合わせを行い、金融機関のアドバイスを参考にした。
- ・5年計画の1年目を終了し、今後2年目以降の進捗管理の中で、発生する課題の解決に取り組んでいきたい。



中小企業白書・小規模企業白書から見る企業の状況

中小企業白書・小規模企業白書

中小企業白書・小規模企業白書とは、中小企業基本法・小規模企業振興基本法に基づいて政府が毎年国会に提出する報告書です。

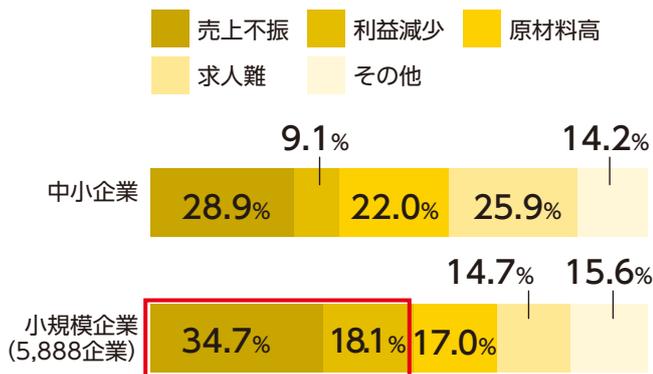
このページでは、小規模企業の経営課題等を分析しました。

経営上の問題と課題

<分析結果>

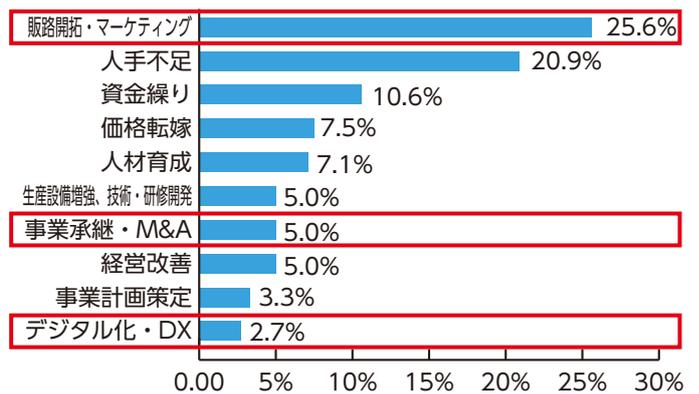
- ・小規模企業の経営上の問題点は、「売上不振」と「利益減少」の割合が50%を超え、中小企業と比較すると高いです。(図1)
- ・これらへの対応策として、「販路拡大・マーケティング」を経営課題と捉える小規模事業者が最も多いです。(図2)
- ・他方、「事業承継・M&A」や「デジタル化・DX」等の専門家や支援機関の活用が有効な高度な経営課題については、優先順位が低いことがわかります。(図2)

図1 経営上の問題点(企業規模別)



※中小企業白書・小規模企業白書概要27ページを参照

図2 小規模事業者が重要と考える経営課題(5,937企業)



※中小企業白書・小規模企業白書概要27ページを参照

支援機関の活用と利益の関係性(図3)

- ・支援機関を活用している企業の半分以上が黒字となっています。
- ・支援機関を活用している企業の黒字割合は、活用していない企業よりも1割高い水準となっています。
- ・支援機関を活用することが営業利益の向上にプラスの影響を与えていることと考えられます。

図3 支援機関の活用別営業利益の見通し



※中小企業白書・小規模企業白書概要31ページを参照

※営業利益とは
⇒企業が本業で稼いだ利益のこと

※支援機関
⇒商工会、商工会議所、よろず支援拠点、金融機関、税・法務関係士業、中小企業診断士、コンサルタント等の認定経営革新等支援機関等

商工会は、小規模事業者の課題解決をサポートします

商工会では、事業計画策定、金融斡旋、経理など経営上のお悩みをお持ちの会員事業者の皆様に対し、様々なアドバイスを行っています。
また、商品開発、デジタル化、生産性向上など専門的な課題も、専門家とのチーム支援により原則無料で解決します。
是非、商工会をご活用ください。お待ちしております。

備えあれば憂いなし！BCP（事業継続計画）を策定しましょう！

大雨被害に見舞われた皆様へ

令和6年7月24日の大雨で被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。

秋田県商工会連合会 会長 大森 三四郎



令和6年7月24日の大雨被害／北秋田市

今からでも遅くない!!

1. ハザードマップを確認しましょう!

- ①市役所や町村役場で、ハザードマップを確認しましょう。
- ②事業所や自宅が、何色の場所にあるのか確認しましょう。
- ③どんな災害リスクがあるのか確認しましょう。
- ④災害時の避難先を確認しましょう。

2. 初動対応を考えましょう!

- ①まずは、現在の準備状況をチェックしましょう。
 - 非常時の役割分担を決めていますか。(被害状況の確認・共有、取引先への連絡等)
 - 従業員やお客様の避難経路や避難場所を確認していますか。
 - 従業員の安否確認方法や連絡手段は決めていますか。
 - 生産機械やシステムの緊急停止方法を確認していますか。
 - 重要書類は安全な場所に保管されていますか。
 - 建物・機械・車両・製品の保険内容は十分ですか。
 - 原材料の納品や輸送が止まった場合の対応策はありますか。
- ②チェックが入らなかった項目について、対応を考えましょう。

3. 初動対応を見える化し、共有しましょう!

紙に書き出すなど、常に目につくようにしましょう。



「五城目町防災マップ」五城目町ホームページ参照

詳しいBCPの策定は、最寄りの商工会までお問い合わせください

広告

商工会員だけの大きな特典
商工会が提案する4つの安心サポート

商工貯蓄共済

- 経営指導**
経営のトータルサポート
- 生命保障**
万が一に備えたリスク管理サポート
- 資金繰り**
企業の資金繰りサポート
- 貯蓄**
資産の充実サポート

どちらも毎月
2,000円
から

あなたも家族もまるごと守る!
頼れる補償の商工会の福祉共済

全国商工会会員福祉共済

「けが」の補償

「病気」の補償

「がん」の補償



※この紙は再生紙を使用しています。

発行所／秋田県商工会連合会 〒010-0923 秋田市旭北錦町1番47号秋田県商工会館内 電話／018-863-8491(代)
購読料／1部10円(会費を含む)